

2020.04.01

4月1日、新年度なれど、入社式等のイベントはコロナ、コロナで、すべて中止です。3月31日現在国内感染者数2,000人超、死亡者数70人で3.5%の致死率です。他国より感染者数は抑えられていますが、死者の確率は高くなっています。もちろん9.86%のイタリアや、7.11%のスペイン、そして4.93%のフランスよりは低い。しかし、これらの国々の感染者数は日本の数十倍である。オーバーシュートに増大し、医療崩壊が起こっている国々です。致死率の高さは医療崩壊の結果であると見ることができます。学校が休校になってから、パンデミック（感染症の世界的大流行）、クラスター（小規模の感染者集団）、オーバーシュート（爆発的患者急増）、ロックダウン（都市封鎖）等々、色々とエスカレートしてきており、感染の拡大の止まるどころが見えません。姿の见えないウイルスとの戦争の出口を誰も答えることができません。このような最悪の環境下にあっても裏の小さな庭に鶯が来てホーホケキョと囀っております。桜は美しい花を咲かせて、これ見よがしです。

志村けんさんがコロナによりお亡くなりになりました。有名人が亡くなるとロックダウンが本当にあるのではないかと考えさせられます。コロナに感染しない方法はないのか？京都大学准教授宮沢孝幸先生は、対処法は山のようにあり、薬ももうすぐわかる。もうしばらくの辛抱。と言います。以下転載させていただきます。

「まず、よく考えて！今、感染拡大を止めるのが大切。今回のウイルス、感染しても多くの方は気がつかない。無症状なんだよ！でも、それが危うい。他人に知らないうちに移しちゃう。そして、中には発症して、死んでしまう人がでる。

まずは、意識改革だ！「自分は今、感染している！（無症状で！）」

「誰にも移しちゃいけない！」そう考えるところから始まる。

コペルニクス的転回。パラダイムシフト。

考えをひっくり返せ！

移らんようにするより、「移さんこと」に意識を集中する。

それをみんなでやれば、たとえ今自分が感染していなくても、他から移されないということだ。みんなでやれば、みんなが助かる。このパラドクス、この理論、わからんやつは帰れ！人と集まって話をする時は、マスクしろ。他人と食事する時は、黙れ。食事に集中しろ！味わえ！友達との会話は食事後でマスクして話せ。それで十分だ！家に帰ったら、速攻手を洗え。アルコールあるなら、玄関ですぐに吹きかけろ。ドアノブも拭いとけ。酒？やめとけ。そもそも体に悪い。酒を飲んだら、会話するだろ。大声になるだろ。それが危険なことわからんやつは、とっとと感染しちまえ。一ヶ月会社休んで回復したら、みんなの代わりに仕事しろ。ただ、爺ちゃん婆ちゃんの前には治るまで、絶対でるな。風呂はなるべく早く入れ！帰宅後すぐがベストだ。たった、これだけ！これだけで感染爆発は防げる！」やるしかない！！

日銀のできることは金融をジャブジャブにするだけです。政策金融公庫が実質金利0%の貸出を行う。景気対策には消費税を0%にすることが一番なのだが。米国では2兆ドルの景気対策が与野党一致で成立。売上高の急減や生活困窮者に現金給付や企業の給与支払いの肩代わりなどに充てるという。日本は4月8日に経済対策を出すと言いますが、米国並みの真水（マミズ）での対策がでてくるでしょうか？